

# 妊産婦健診について

(2012年愛知自治体キャラバンまとめ)

市町村名		妊産婦健診は、初回の健診はもちろんのこと、産前14回、産後1回を無料で受けられる恒久的な制度にしてください。
0	愛知県	<p>妊産婦の健診に関する財源は、平成10年度から市町村への地方交付税措置として一般財源化され、各市町村の実情に応じた取組みがなされてきました。</p> <p>平成21年1月からは地方交付税及び国交付金により妊婦健診の公費負担が従来の5回から14回に拡大され、平成21年度からはすべての市町村で14回の妊婦健診を実施しております。</p> <p>本制度については平成24年度末までの時限的措置であることから、引き続き円滑に事業を実施できるよう、国の財政措置による恒久的な制度として確立することを国に対して要望しているところです。</p>
1	名古屋市	<p>本市では、妊婦の経済的負担の軽減を図るため、委託した医療機関で、一定の項目について公費負担で健康診査が受けられる妊婦健康診査を実施しています。</p> <p>平成21年4月からは、公費負担の回数を5回から14回に拡充し、国が例示しております検査項目につきましても、平成24年4月から全て公費負担の対象としております。</p> <p>また、産後健診の公費負担につきましても、多額の経費を要することもあり、今後、国の動向や本市の在野状況などを見極めながら、その必要性も含め慎重に検討していきたいと考えております。</p>
2	豊橋市	<p>妊娠届出以後の妊婦健診につきましては14回まで公費負担の対象と考えておりますが、厳しい財政状況の中、この公費負担をできるだけ継続が重要と考えております。妊娠の判定をする初回健診及び産後の健診につきましては、現在のところ公費負担をすることは考えておりません。</p>
3	岡崎市	<p>平成21年度2月から、妊婦健診公費負担の回数を14回に拡大しました。妊娠の確定については自己負担ですが、妊婦健診の初回については公費負担と考えています。また、産後健診の公費助成については、妊婦健診とは別事業となるため実施は考えていません。制度として「子ども子育て新システム」に組み込まれる内容であるため、国からの説明を待ち、検討していきます。</p>
4	一宮市	<p>妊婦健診については、国の補助制度に合わせて、妊婦届出以降14回の公費負担を行っています。産婦健診については、生活保護や市民税非課税世帯の方への助成を設けております。</p>
5	瀬戸市	<p>平成21年度から妊婦健診の助成回数を14回に拡大したところです。今後の助成拡大につきましては、国の動向や他市の状況などを勘案し、検討していきたいと考えています。</p>
6	半田市	<p>妊婦健診については、初回を含め妊婦健診を公費負担で14回、産婦健診についても1回分を公費負担しております。なお、産婦健診は愛知県妊婦健康診査支援基金事業補助金を受け実施しております。</p> <p>恒久的な制度化につきましては、今後国の動向を踏まえ判断していきたいと思っております。</p>
7	春日井市	<p>妊婦健診については、平成23年度にクラミジア検査や、HTLV-1検査等が追加されて妊娠期に必要な健診項目を充実させながら出産までの健康管理を図っているところです。産後健診の助成については、県の今後の動向を見守っていきます。</p>
8	豊川市	<p>妊産婦の健康検査については、産前健診14回分を公費負担としています。産後健診の公費負担は行っておりません。今後については、国の動向や近隣市町の状況を参考にしながら検討をしていきます。</p>
9	津島市	<p>妊産婦の無料健診については、国の指針に基づき、14回の助成を行っています。国の指針、また、県、各市の状況等の動向を見守りたいと考えております。</p>

市町村名		妊産婦健診は、初回の健診はもちろんのこと、産前14回、産後1回を無料で受けられる恒久的な制度にしてください。
10	碧南市	妊婦健康検査については、国からの公費負担の回数及び検査内容について示されています。現在、碧南市においては、妊婦健康検査14回分を公費で受診できるよう受診票を交付しています。また、県外などでの健診の受診費用についても償還払いで費用負担がないように対応しています。検査内容については、回数同様国が示す検査項目をすべて適正な時期に検査できるよう、公費助成の対象としています。産後健診については、受診票を交付し、公費での受診ができるように、開始時期など検討していきます。
11	刈谷市	妊産婦健診の受診券は、母子健康手帳と一緒に交付していますので、初回健診には使用できません。現在、妊娠中に14回(子宮頸がん健診含む)、産後1回の受診券交付しており、県内の医療機関で受診できるよう、県下統一した内容となっています。適正な時期に必要な検査ができるようになってはいますが、無料券ではなく、県で統一した内容の補助券となっています。
12	豊田市	※文書回答なし
13	安城市	産前14回、産後1回の健診は健診指定項目について無料で受けられるようになってはいます。現在県医師会に委託し広域化での健診を実施しています。今後も国の補助制度に基づき実施していきます。
14	西尾市	妊産婦健康検査は、愛知県における標準的な健康審査内容により、妊婦健診14回及び産婦健診1回を公費負担しております。
15	蒲郡市	産前14回については、14回の受診券を発行し無料で受診していただけるようにしています。但し、妊娠の有無を確認する初回健診については、国が示している基本的又は標準的な妊婦健康検査の項目に含まれておらず、当市の健診内容に含めていく予定はありません。また、産後1回の健診についても無料にする予定はありません。
16	犬山市	妊婦健診は、平成21年度から公費負担回数を14回まで拡大実施しています。産婦健診については、国等の動向を注視しながら検討していきます。
17	常滑市	平成24年度は、県市町村と歩調を合わせ、産前14回、産後1回の助成をしています。来年度以降については原則、国庫補助があれば24年度と同じ内容で助成していきたいと考えています。
18	江南市	妊産婦健診は、産前14回、産後1回を公費助成しています。助成は、医療機関で妊娠届出書の発行を受けた以降の健診分を対象としています。
19	小牧市	妊婦の無料健診制度については、平成21年度1月27日以降、国の示した健診内容で、14回を実施しております。なお、産後健診については、現在のところ実施する考えはありません。
20	稲沢市	妊婦健診については、愛知県内の市町村が足並みそろえて、14回の健診を実施しております。産後健診については、現状でお願いしたい。
21	新城市	妊婦健診は、愛知県市長会の調整のもと、初回の健診を含め14回の受診券を交付し、補助しております。産後の健診は、補助しておりません。
22	東海市	本市では、平成21年度から産前14回について補助を行っております。産後1回の補助については平成19年度から実施しています。公費負担となる健診項目については、県下統一を図っております。
23	大府市	本市では、妊婦健康診査14回、産婦健康診査1回及び乳児健康診査2回の計17回をすでに公費で実施しております。
24	知多市	現在、妊産婦健診として、子宮頸がん健診、HTLV-1・クラミジア検査、産前14回と産後1回の健診に対して無料で受診できるよう助成を行っています。恒久化については、市長会で取りまとめたいただきたいと考えています。
25	知立市	産後診は平成20年度4月から、産前の14回は平成21年2月から無料で助成しています。財政が厳しい状況にありますが継続できるよう努めます。
26	尾張旭市	妊婦健診は、現在14回公費負担にて健診を実施しています。産後健診については、今後も厚生労働省が示す考え方等を参考にしながら検討して参りたいと思っております。
27	高浜市	妊婦健診は14回助成を行っております。

市町村名		妊産婦健診は、初回の健診はもちろんのこと、産前14回、産後1回を無料で受けられる恒久的な制度にしてください。
28	岩倉市	平成21年2月から妊婦健康診査の公費負担回数を14回に増やし現在は14回無料で受けられます。
29	豊明市	妊産婦健診については、国の基準に基づいて14回で実施をしていきます。
30	日進市	平成21年度から産前14回とし、平成22年度は、子宮がん検診の追加や検査項目の調整を行い、平成23年度は、HTLV-1、クラミジアを追加し、該当項目について無料となるよう実施しています。回数の継続的な確保に努力しています。産後健診については、現在のところ実施する予定はありません。
31	田原市	産前の健診については、14回受けられるようになっていきます。産後の健診については、近隣の市の動向に合わせて実施を検討して参ります。
32	愛西市	平成22年度から妊婦健診は14回、無料で受けられるよう助成しています。なお、産後1回の健診無料化については、現状では予定をしていません。
33	清須市	妊婦健診は初回から14回目まで助成しています。乳児の健診も1回助成しています。産婦健診の助成については財政面から考えていません。
34	北名古屋	現在は、妊婦健診を14回、国の補助金を受けて実施していますが、将来的には、市の全額持ち出しとなることを踏まえると財源確保が厳しい現時点では、産後健診への補助は、大変難しい状況です。
35	弥富市	愛知県医師会と契約を結び統一した料金で、産前14回受診券を発行し利用していただいております。なお、産後健診の助成等は、現在考えておりません。
36	みよし市	※文書回答なし
37	あま市	市長会を通じて、14回の健診が継続して実施できるよう要望していきます。
38	長久手市	平成21年度から妊婦健診は14回に拡大し実施しています。
39	東郷町	妊産婦健診は、産前14回の健診を、予算の範囲内で実施します。産後健診は考えていません。
40	豊山町	妊婦健診は14回実施しております。産後健診は実施しておりません。今後妊婦健診の国庫補助の継続が不透明な状況では今後の検討課題となります。
41	大口町	現在、妊婦健診の補助については、県が定めた内容で実施しており、人によっては自己負担が発生する場合があります。今後の制度の無料化については考えておりません。
42	扶桑町	平成21年度4月から産前7回を14回に拡大し、原則無料で受診できるようにしています。
43	大治町	妊婦(産前)健診回数・内容については厚生労働省の素案と日本産婦人科学会、日本産婦人科医会のガイドラインに沿って、愛知県内自治体が合同で、愛知県医師会と海部医師会と折衝している。産後健診については、今のところ実施する予定はありません。恒久的な制度として実地したいと考えるが、補助金が交付されなくなると検討しなくてはならなくなる可能性がある。
44	蟹江町	厚生労働省の通知に基づき現行どおりとします。
45	飛島村	産前14回、産後1回は平成20年度より実施済み。
46	阿久比町	現在、妊婦健診14回、産婦健診1回、乳児健診2回を無料実施しています。
47	東浦町	現在は、県の補助もあり実施しておりますが、子育て支援のために継続実施できるよう努めてまいります。
48	南知多町	平成21年度より、妊婦健康検査を14回、産婦健康検査を1回無料で実施している。
49	美浜町	契約している内容については、無料で受診できるよう助成している。
50	武豊町	県内の医療機関において、無料で受診できる妊婦健康診査受診票を14枚、産婦健康診査受診票を1枚交付すると共に、県外での里帰り出産をされる妊産婦の対応として、償還払い制度を行っています。今後も出来る限り継続実施したいと考えています。
51	幸田町	平成21年度から産前14回の公費負担をしています。産後健診については、近隣市町の状況を踏まえて検討したいと考えています。
52	設楽町	産前14回を無料で受けられるようにしています。産後の無料化については、現在予定はありません。

市町村名		妊産婦健診は、初回の健診はもちろんのこと、産前14回、産後1回を無料で受けられる恒久的な制度にしてください。
53	東栄町	産前14回を無料化しております。出産準備金として、5万円の助成制度を設けております。
54	豊根村	産前14回、産後1回を無料で実施しています。